

## 「社会環境報告書 2017」を2017年9月25日（月）から ホームページに公開します！

2016年度に実施した「安心＝安全＋サービス」「社会」「環境」に対する取組みを紹介

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：山村 明義）では、東京メトロの事業活動を通じた社会環境活動を多くの方々にお伝えするために、その取組みについて幅広くご紹介する「社会環境報告書 2017」を2017年9月25日（月）からホームページに公開します。

本報告書では、2020年度に向けた長期環境戦略「みんなでECO.」に基づいて取り組んでいる様々な施策のほか、東京メトロが社会に提供する価値であるこれまでの実績や世界初・日本初の取組み、日比谷線に導入した新型車両13000系などをご紹介します。

また、本報告書は、当社ホームページ（<http://www.tokyometro.jp>）にて電子ブック及びPDF形式でご覧いただけるほか、同ホームページにてお客様からの発送申込を受け付けています。

「社会環境報告書 2017」の概要は、以下のとおりです。

### 1 主な内容

- (1) トップコミットメント（社長メッセージ）
- (2) 特集
  - ・東京メトロが社会に提供する価値
  - ・日比谷線新型車両13000系
- (3) 東京メトロのコーポレートガバナンス
- (4) 東京メトロの取組み
  - ・「安心＝安全＋サービス」編
  - ・「社会」編
  - ・「環境」編

### 2 形式

A4判 オールカラー 52ページ



# 「社会環境報告書 2017」 ページ紹介

## 〈トップコミットメント〉



### Top Commitment

「安心」と「成長」を両輪に、  
魅力と活力ある東京を支えます。

東京地下鉄株式会社  
代表取締役社長  
山村明義

### 首都圏鉄道ネットワークの中核を担う、信頼される企業へ

平素より東京メトロの事業活動にご理解を賜りまして、ありがとうございます。  
東京メトロは、東京都都心を中心に約195.1kmの地下鉄を運営し、37カ路線で他社と相互直通運転を実施する、首都圏の鉄道ネットワークの中核を担う企業です。  
一日724万人のお客様にご利用いただく公共交通機関として、輸送の安全性の向上に努めるとともに、お客様の視点に立ったサービスの充実にも取り組んでいます。また、お客様の日常をサポートする関連事業にも積極的に取り組んでいます。  
そして、地域社会との密接なコミュニケーションや、地球環境保全への取組、コンプライアンス経営に努めることにより、社会からも高く評価され、信頼される企業を目指しております。

### 世界トップレベルの安心を全てのお客様に

2017年度は、中期経営計画「東京メトロプラン2017」の中期目標に当たり、引き続き2つのキーワード「安心の提供」と「成長への挑戦」を柱として各事業領域に積極的に取り組んでまいります。  
「安心の提供」としては、「安心＝安全+サービス」の考えのもと、「世界トップレベルの安心」を世界中から来る全てのお客様に提供する地下鉄を目指し、ハード・ソフト両面の各種施策をこれまで以上に加速してまいります。  
特に、非年度発生した半蔵門線九段下駅におけるペーカークロッキング事故や西武池袋線山一駅自動ドアの故障を教訓とし、お客様の利便事故を減らすための駅ホームの安全性向上と、全ての路線への「ホームドア」普及に向けた取組、お客様の安全のための「見守り」の強化に引き続き取り組んでまいります。また、自然災害対策についても、お客様の安全確保を最優先し、引き続き対策実施、大規模浸水対策等を進めるとともに、災害発生時の被害の拡大防止や早期復旧に向けた取組を推進し、首都圏の都市機能の維持・向上に努めてまいります。  
「成長への挑戦」としては、「安心の提供」を大前提とした上で、新たな価値を生み出し、取組の全てを成長と位置づけ、私どもがこれまで集めてきたあらゆる経営資源を最大限に活用し、引き続き駅を拠点に周辺地域の活性化や東京のまちづくりへ

の貢献、人の動きや集まりの拠出に取り組んでいきます。  
あわせて、東京の地下鉄事業者としての誇りと自覚を持って、新技術の導入・導入や海外展開に挑み、世界の地下鉄のトップランナーたる地位を築いてまいります。  
加えて、これらの実現を促すものとするため、コスト削減や生産性の向上を促した効率的な事業運営、実務的な訓練を強化した人材育成などにより、経営基盤の強化を図ってまいります。  
また、東京2020オリンピック（パラリンピック）競技大会オフィシャルパートナー（鉄道移動サービス）として、開催都市の重要な交通インフラに欠かせられる存在に込めるべく、「東京が一番かかやうに、私たちがご案内します。」というキャッチコピーのもと、円滑な輸送サービスを提供し、地下鉄をわかりやすく快適にご利用いただき、日本国内はもとより海外からのお客様にも、東京を存分に楽しんでもいただけるよう東京2020大会の成功に貢献してまいります。

### 社会・地球環境に配慮した事業展開により、魅力と活力ある東京の実現へ貢献

ここに掲げる報告書は、社会・環境への貢献をはじめとする東京メトロのさまざまな活動をご紹介します。中長期的な人口減少、自然災害リスク等の課題を認識しつつ、グループで「東京を支える力」の実現を目指し、持続的な企業価値向上の取組を推進してまいります。  
経路課題の一つである地球環境保全については、2016年11月に実施した「目標設定意識づけ」の取り組みやホームドア設置促進などによる今後のエネルギー削減の推進に対し、積極的な取り組み、具体的な取組によりCO2排出量の削減に努めます。具体的には、異種乗換駅（みなでECO）に基づき、環境配慮型車両13000系や駅構内照明の導入など、環境負荷の低減につながる様々な施策を積極的に進めます。また、駅に前倒した開通方針及び開通ガイドラインに基づき、優良な企業市民として社会・環境に配慮した責任ある開通を目指してまいります。  
これらの取組を通じて魅力と活力ある東京の実現に貢献してまいります。  
以上のような取組について、東京メトロの社員一人ひとりが一丸となり、全力で取り組むよう努めてまいります。皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 〈「環境」編トップページ〉

# 環境

MESSAGE  
長期環境戦略「みんなでECO」を軸に、積極的に技術革新にも取り組んでまいります。  
東京メトログループは、地球環境保全を経営課題の一つとして、2020年度に向けた長期環境戦略「みんなでECO」に基づき、お客様や社会とともに東京の環境負荷低減に貢献してまいります。  
「環境」では、東京メトログループの環境マネジメントシステムについてご紹介するほか、様々な取組を「みんなでECO」の3つのテーマである「東京メトロからのエコ」、「東京メトロを軸としたエコ」、「地球環境とエコ」に分けて、地球環境に貢献しています。  
東京メトロでは、2016年の「100日削減活動」を踏まえ、これまでも取り組んで蓄えられたエネルギー削減や再生可能エネルギーの活用に取り組むことにより、エネルギー削減率を2016年度比でCO2排出量を削減し、より環境に配慮した東京の実現に取り組んでまいります。

### 4% 削減

#### 列車運行の環境効率性

2016年度の「車両運行キロ当たり」の電機消費電力削減率は、標準配置車両の導入の導入に加え、制御対策として削減した車両の使用方法を継続した結果、標準年の2009年度に比べ削減の成果となりました。

項目	2009	14	15	16
電機消費電力削減率	0%	1.5%	2.5%	4.0%

※電機消費電力削減率の算出方法は、電機消費電力削減率(Wh/km)を電機消費電力削減率(Wh/km)で除算した値を指します。  
※電機消費電力削減率(Wh/km)は、電機消費電力削減率(Wh/km)を電機消費電力削減率(Wh/km)で除算した値を指します。

※電機消費電力削減率(Wh/km)は、電機消費電力削減率(Wh/km)を電機消費電力削減率(Wh/km)で除算した値を指します。

※電機消費電力削減率(Wh/km)は、電機消費電力削減率(Wh/km)を電機消費電力削減率(Wh/km)で除算した値を指します。

## 環境マネジメントシステム

### 地球環境に対する考え方

東京メトログループでは、地球環境を経営課題の一つとして、2020年度に向けた長期環境戦略「みんなでECO」に基づき、お客様や社会とともに東京の環境負荷低減に貢献してまいります。

#### 東京メトログループ 環境基本方針

- 1 私たちは、エネルギー効率の高い交通手段である地下鉄の利便性の向上と利用促進を通じて、東京の環境改善に貢献します。
- 2 私たちは、エネルギーの効率的な利用を心がけ、地球温暖化防止に努めます。
- 3 私たちは、環境に優しい物品を積極的に使用し、資源消費や廃棄物の削減に努めます。
- 4 私たちは、騒音や振動などの環境負荷の低減を図り、地域社会との調和を目指します。
- 5 私たちは、環境に関する法規制を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

### 環境マネジメント推進体制

東京メトロでは、環境保全活動を全社的に推進するため、総務部長が環境管理推進責任者に、各部門の長が部門環境管理責任者に選任するとともに、環境マネジメントに関する案件



この「環境マネジメント推進体制」のもと、PDCAサイクルに沿って環境マネジメントシステムを運用しています。環境基本方針や長期環境戦略「みんなでECO」に基づき、環境委員会にて環境目標を設定し（Plan）、目標達成に向けて各部門が活動し（Do）、活動の進捗状況を定期的な検証・評価し、結果を環境委員会に報告します（Check）、そして、必要に応じて改善を行い（Act）、環境保全活動を継続的に改善してまいります。  
さらに、東京メトログループ各社でも環境マネジメントシステムを適用しており、「省エネ活動の推進」「改正省エネ法等の法規制への適切な対応」「経路課題の削減」「廃棄物管理の推進」「環境教育の実施」の計5項目をグループ共通の環境目標に設定するとともに、2013年度からはグループ各社ごとに独自の環境目標を設定し、環境保全活動に取り組んでいます。この

